

第2回学校運営協議会 記録

1 日 時 令和4年7月8日(金) 18:30~19:30

2 場 所 会議室

3 参加者 14名(欠席 森、吉岡)

4 次第

(1) 開会挨拶 (校長)

この1学期は、3年ぶりにという言葉は何度も使った。昨年度、一昨年度できなかった学校行事や教育活動が再びできるようになったということであり、うれしく思う。ただ、それらの行事や活動が以前のままで復活したということではなく、内容や方法を精選したり、工夫したりしながら、いわば新しいスタートを切った1学期だったように思う。

広報うわじま7月号に、「応援サポーター」のチラシを入れた。これから、サポーターの輪が広がっていくことを期待している。

(3) 協議

ア 今後の教育活動(学校行事等)について

- 2学期の行事予定表をもとに説明

イ 夏季休業中の児童の生活について

- 夏休みの暮らしをもとに説明

ウ 「明倫小学校応援サポータ」について

- 現在25名程度の申し込みをいただいている。7月末を目途にいったん集約し、2学期以降の活動を目指している。

エ 情報交換

- 委員の方から

- ・ スケートボードを道路でしている児童を目にした。
- ・ 保手川での川遊びを見かけた。
- ・ ヘルメットは、あご紐をきちんとつけて乗るように指導してほしい。
- ・ 下校中広がって歩いたり、車道側を歩いたり、車道と歩道の境目のブロックの上を歩いたりしている児童がいる。
- ・ 登校時の挨拶ができていない。下を向いて元気なく歩いている児童が多いと

感じる。

- ・ 夜市の見回りを育成会校外生活部で行っていたが、感染症拡大の影響により今後は中止とした。
- ・ 今年度の敬老慰安会と市民運動会は、中止となった。
- ・ 学童に来た子どもたちが外で遊んでいると、汗びっしょりになっていて熱中症が心配である。学校でのマスク着用の決まりについて教えてほしい。
- ・ 交通安全推進員が月3回朝の登校見守りをしている。増やすこともできるので検討されてはどうか。
- ・ 家庭での生活習慣の乱れが登校時の元気のなさにつながっているのではないか。

オ 講評 （教育推進員 西村久二夫 氏）

- 学校運営で大切なことは、人づくりと地域づくりである。子どもたちの明るい未来をつくるために地域と一緒にやっていくことが大切である。
- 地域コーディネーターは、学校運営協議会委員に必ず入っていなければならない。子どもたちのための活動を支える大切な役割である。
- 子どもたちの声は、地域を元気にする。挨拶ができる子を育てたいと校長が考えたとき、次はそれを具体にもっていくことが大切、実践していくことが大切。校区全体で共通認識を持ち、広げる手立てを考えていってほしい。
- with コロナの今、何ができるか考えていくことが必要である。

(4) 閉会挨拶 （久徳副会長）

子どもたちの挨拶の声が小さい、元気がないという話がたくさん出たが、では、私たち大人はどうなのだろうか。元気なのだろうか。自分自身を振り返ってみてそう思った。大人が元気を出し、子どもたちを支えていきたい。